

## 分析化学 2

2020 年度入学生 (3 年) 【前期】 火 3・4 講時 (10:25 ~ 11:55)

2021 年度入学生 (2 年) 【前期】 水 3・4 講時 (10:25 ~ 11:55)

田中秀治, 竹内政樹

ここで紹介された資料は**蔵本 2 階授業サポートナビコーナーにあります**ので, どうぞご利用ください。

(同じ本が 3 冊以上ある場合は★の場所にもありますので, そちらもご覧ください)

## 図書

授業のテーマをつかみ事前学習や復習を効率的に進めるために, これらの図書を読むことから始めましょう

□ **スタンダード分析化学 角田欣一, 梅村知也, 堀田弘樹 著 裳華房 2018**

→ 化学的分析法から機器分析法に至るまで, 分析化学全体をカバーした書です。1 冊にコンパクトにまとめられていますが, かなり詳しく, 研究者レベルの高度な事項にまで触れられており, 2018 年の出版ですので内容的にも新しく, 優れた専門書です。参考書としてお薦めします。

【433||Ts】

□ **スクーグ分析化学 Skoog, West, Holler, Crouch 著, 小澤岳昌 訳 東京化学同人 2019**

→ 国際的に定評のある分析化学教科書の第 9 版の邦訳。非常に詳しく丁寧に書かれています。残念ながら本翻訳書は, 全訳ではなく部分訳であり, 割愛された内容も多くあります。本格的に勉強したい人には原著をお薦めします。

【433||Su】

□ **Principles of Instrumental Analysis / D. A. Skoog, F. J. Holler, S. R. Crouch, Cengage Learning, 2018**

→ 上記「スクーグ分析化学」の姉妹書で, 機器分析法に焦点を絞った専門書です。電子回路や信号処理の解説から始まり, 各種機器分析法をほぼ余すことなく網羅しています。詳しく深く丁寧に書かれており, 世界最高峰の機器分析学書だと思います。邦訳はありませんが, 機器分析学を本格的に勉強したい人にお薦めします。

【433||Sk】

□ **原書 7 版 クリスチャン分析化学 I. 基礎編 / G. D. Christian, P. K. Dasgupta, K. A. Schug 著 丸善出版 2016**

→ 国際的に定評のある分析化学教科書の第 7 版の第 1 章~15 章の邦訳。分析の基本操作, 分析データの取り扱い, 化学量論, 化学反応・化学平衡, 容量分析法, 電気化学分析法が扱われています。第 7 版では, Dasgupta と Schug が執筆陣に加わり, 電子工学的内容がさらに充実するなど, 大幅な改訂が行われています。

【433||Ch||1】

□ **原書 7 版 クリスチャン分析化学 II. 機器分析編 / G. D. Christian, P. K. Dasgupta, K. A. Schug 著 丸善出版 2017**

→ 国際的に定評のある分析化学教科書・参考書の第 7 版の第 16~24 章の邦訳。分光分析法, 分離分析法, 自動分析法が扱われています。第 7 版では, Dasgupta と Schug が執筆陣に加わり, 電子工学的内容がさらに充実するなど, 大幅な改訂が行われています。

【433||Ch||2】

□ **物理系薬学 III. 機器分析・構造決定** (スタンダード薬学シリーズ II 2) / 日本薬学会 編 東京化学同人 2016

- 薬学教育モデル・コアカリキュラムに準拠した教科書・参考書で、各種機器分析法を詳しく丁寧に解説しています。  
2 色刷で欄外に補足解説や重要語の英訳を配し、薬剤師国家試験出題問題に基づいた練習問題を多く収録するなど、薬学生の自学自修にも適した書です。

【499||Su||2-3】

□ **基礎教育シリーズ 分析化学 機器分析編/本水 昌二ら 12 名著** 東京教学社 2011

- 分光分析法，電気化学分析法，分離分析法，構造解析法など，代表的な機器分析法の基礎的事項が丁寧に書かれています。理系全般向きの分析化学書です。

【433||Ki】

**Web**

授業のテーマに関連したデータベースやサイトです

□ **日本薬局方電子版/厚生労働省**

【<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11120000-Iyakushokuhinkyoku/JP17.pdf>】

- 日本薬局方の電子版をダウンロードすることができます。